

第6回 ホームカミングデー

日時 11月3日(文化の日) 12時~14時

所 名古屋学院大学

思星館第6回ホームカミングデーを間近に控え、Q君とA君の会話に、ちょっと耳を傾けて下さい

- Q. ホームカミングデーって何ですか？
- A. 年に一度、OB・OG卒業生の仲間が、このキャンパスに集い、コミュニケーションを深めるイベントなんだよ。
- Q. 昨年、名古屋学院大学創立30周年だったんですよね。僕も件を取ったなあ。ホームカミングデーも古くから開催されているんでしょ。
- A. 今年が第6回で、また新しいんだ。
- Q. 始めて聞いた事業名ですけど…。英語の意味から何となく分かる気がする。
- A. 外国の大学では、ネーミングは違うだろうが、同様のイベントなんだよ。
- Q. 僕も、昨年、友人に誘われて、10月22日の創立30周年記念交流会に行き(その時、ホームカミングデーと共催だったのを知らなかったんですけど)けっこう楽しかったよ。でも卒業生は多いから、まだ少ないんだ。
- A. そうだね。少なかったね。現在、同窓会会員は二万三千名と、そのうち三千名は連絡が取れていないが…。東海三県にお住まいの方が大半だから、宣伝が行き届いてないと思うよ。
- Q. 昨年、子供連れの家族も楽しく会食している様子でしたが、卒業生の家族とが、友人も集れてくるんですか？。

- A. もちろんだ。OB・その家族、教職員も。NGUファミリーという大いな輪を広げるのが目的だから。
- Q. エーと。参加は無料ですかね。
- A. そう、無料です。立食パーティーに、楽しい企画——昨年はビンゴゲームで盛り上がったよ。とお土産も有るよ。
- Q. 昨年、キャンパスへ行った時、チャペルの美しさ、その周囲の建物、なんという名だったかなあー。星(ほし)、星(ほし)なんですか？。
- A. 「思星館(しせいゆん)」という名称だったと思うよ。
- Q. そうそう、その「思星館」が、形も、雰囲気もよくて、チャペルの「星」とマッチし、すごく感動したんだ。
- A. これだけ自然と建物とマッチしたキャンパスは、日本中探しても少ないだろうね。
- Q. 昨年、キャンパスへ行った時、やはり良かったよ。(フツフツ…)
- A. 若くは4年間、通ったんだらう。5年間?いやジョークだけど、年に一度、往復が時間くらい、時間つくれば。
- Q. そうだね。眺められるキャンパスで、11月3日、若返り(?)さわかやかな気持ちで、楽しんでも良いね。
- A. 来月の11月3日は「名学祭」——なつかしい名前だーと同じ日柄なんですね。
- Q. 今回のホームカミングデーは「名学祭」と共催で、おもしろくなりそう。奥庭とかも名学サークルから出資するんですね。今年や昨年の卒業生は社会人となって、苦勞(?)しているから、この11月3日は、先輩を敬がせて、リフレッシュしたらいいよ。
- A. とところで、若も来るんだらう？。
- Q. ファミリーで、「お父さん」しようかなあ。
- A. さっと、奥さんも子供さんも、喜んでくれるよ。じゃあ、11月3日、名古屋学院大学キャンパスで、会おう。

50周年、百周年に向けて大いなる飛躍を誓う

大学創立30周年を迎え、これまでの感謝と21世紀に向けての飛躍を誓って、去年十月紅葉深まりゆく秋のなか様々な記念行事が展開されました。事前に計画された企画、記念式典・シンポジウム・祝賀会・講演会・交流会・写真展、いずれも予想を上回る参加者があり成功裡に終えることができました。

●講演会・一人芝居・交流会

大学同窓会共催・名古屋アメリカンセンター後援

10月22日、前日に続いて協定校学長に本学の先生方も加わり、講演会(前日と同じテーマ)が開催された。土曜日の開催で出席者数が心配されたが、三会場とも、学生、卒業生、一般市民で満席(700名余が出席)となった。



名古屋学院大学創立30周年記念祝賀会



テーマ別に中身の濃い講演会となり学ぶことが多く、学生は全員レポートを提出するなど大変有意義な講演会となった。講演会終了後、ジョン・S・バターソン氏による一人芝居がチャペルで催された。テーマは「ハーレムルネッサンス・ラングストン・ヒューズの世界」。で約300名の観衆が氏の情熱あふれるパフォーマンスに見入った。

祝 名古屋学院大学創立30周年 交流会

●交流会

同日午後、大学同窓会が中心となって交流会が持たれた。講演会の参加者等多数が思星館(第2食堂)に集った。占部憲一同窓会長より今日までの歩みに対し教職員への謝辞と交流会を通して「同窓会と大学が一体となって母校を発展させよう」とのアピールがあった。生演奏を楽しむ料理に舌鼓をうちながら交流をふかめた。



祝 名古屋学院大学創立30周年 交流会

30年の歩み

神を敬い人を愛するキリスト教精神を中心とする中学校と高等学校から大学へ一貫した男子中心の学院を願ひ、昭和三九年四月に開学しました。場所は、東区大幸町現在の名古屋学院高等学校。第一回入学生二四七名が、希望に胸をふくらませ、スタートしたのです。

四十年度は三九〇名、四一年度は七三五名に、学生も増え、また、商学科が新設され、大幸学会ではより充実した大学にするため

▼神戸の丘陵地に建設中の新学舎



には、少し手狭なため、名古屋学院創立八十周年を機に、昭和四三年瀬戸へ移転することになりました。

瀬戸市街を通り抜けた、見渡すかぎり山林におおわれた丘陵地。その景観の良さと空気のきれいな

▼開学当時の学舎



ことは、学園にとつてはまさに理想的な環境でありました。

学生の数も増え、大活動も順調に進みかけた矢先、その頃、全国的に学生運動が激化してきており、本学の学生自治会も自然にその影響を受け、ついに、昭和四四年九月二九日に、六合館の閉鎖という事態を起こしたのです。しかし、数日で自主解除し機動隊の導入もなく十月十三日から授業は再開されましたが、四五年、四六年、四七年と入学志願者は減少し、大学としては暗い時期でした。

そんな苦しい時を乗り越え開学十年目を迎えた四八年度から、学



▲大学内のシンボル「アバル」

御挨拶

同窓会会長 占部憲一



暑い夏が過ぎ、同窓生の皆様におかれましては、ますますお元気でご活躍のことと推察いたします。

昨年度は、創立三十周年ということで、大学は記念祝賀会及び記念講演、一人芝居などさまざまなイベントを行ない、同窓会は、三十周年のご来賓、教職員、学生及び同窓生の交流会を開催いたしました。先生方やゲストの方と同窓生、学生が楽しく歓談され、非常になごやかな雰囲気うちに開催することができました。

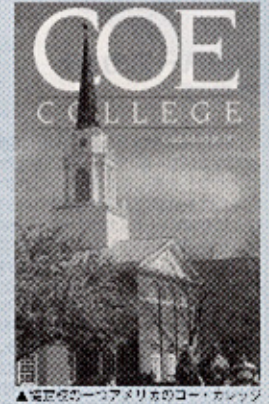
さて、我々同窓会も、本年度新たに一千百名の卒業生を迎え、二万二千名を越える会に成長してまいりました。私は、昨年の秋より何もわからないまま同窓会長に就任いたしました。が、ようやく同窓会の行なうことができ、ようやくかけ

本年度の方針といたしまして、大学の執行部や関係各所とのコミニケーションを良く取り、協力関係を強化していき、また、各クラブのOB会との連携も強化していきたいと考えております。

今年、例年通り大学祭に合わせ、ホームカミングデーを開催いたします。キャンパスまではちょっと遠いと思いますが、大学祭のイベントを楽しみながら、新しくなった大学の姿を見て、旧交を温め合っていただければ幸いに思います。

本年度も、同窓会の活動にご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。





▲米国コロラド州のコー・カレッジ

として新たな出発となりました。

その後、教職課程（社会科）を
設置し、外国語学部および留学生
別課を新設し、CALLTを導入して
外国語教育の充実、また、国際セ
ミナーハウスを新築したキャンパ
スの国際化
をはかり、
経済学部を
学部分割し
て商学科を
商学部とす
るなど、積
極的に対応
してしまし
た。



▼駅前にスクールバスに乗車する学生たち

「敬神愛人」をモットーに建学
された名古屋学院大学も、三十周
年を迎えより一層の発展をしてい
くことと思います。

大学の歩み

1937年7月 私立敬神愛人学校創立

1939年7月 学校法人敬神愛人学校設立
Japanese College of Arts

1948年9月 私立敬神愛人学校改称
法人敬神愛人学校と改称

1948年4月 新制名古屋学院大学創設
名古屋学院大学 (Nagoya Gakuin
University) 開学

1964年4月 経営学部創設 (定員200名)
初代学長 田代太郎博士

1966年4月 経営学部国際学科設置 (定員100名)
友成賢が完成し、翌年5月入学す。

1967年4月 経営学部国際学科定員増 (定員200名)
アスカ・メンジスト大学 (AMU)と
姉妹校関係を結ぶ

1968年4月 第二学舎へ全学移転
今学期留学生が60名を超過す。

1969年9月 経営学部国際学科定員増 (定員200名)
経営学工務科 13日設校開始

1973年4月 学校法人名古屋学院大学設立
経営学部国際学科定員増
(定員450名)

1975年4月 経営学部国際学科定員増
(定員200名)

1976年4月 敬神愛人学校 (社名)
敬神愛人学校 (社名)

1977年5月 白眉学園学園問題がある。

1978年4月 学校評議員会設立
学校評議員会設立
学校評議員会設立

1980年4月 外国語学部研究センター開設
経営学部国際センター開設

1983年9月 チヤヘルビル
10月 白眉学園学園問題

1984年9月 大学創立25周年記念式典が挙行される。
経営学部国際学科定員増
(定員450名)

1985年12月 経営学部国際学科定員増 (定員200名)
経営学工務科 (定員100名) 第二研究部
設。専攻：国際時、大企業、国際時

1989年4月 外国語学部英米学術センター
(定員150名)

外国語学部中国語学術センター (定員100名)
経営学部国際学科 (定員200名)
敬神愛人学校 (社名)

11月 スクールバス本館建設 (地下鉄
本館駅直結)の工事が始まる。

ホームカミングデーが開催される (以
後毎年)

1991年4月 大学評議員会が設立される。

1993年4月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

1995年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

1996年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

1997年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

1998年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

1999年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2000年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2001年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2002年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2003年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2004年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2005年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2006年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2007年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2008年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2009年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2010年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2011年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2012年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2013年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

2014年12月 経営学部国際学科
経営学部国際学科

御挨拶

学長 横井弘美



今年には阪神大震災や地下鉄サリ
ン事件など途方もないことが起
りました。特に後者の事件は大学
教育の在り方にも問題を投げかけ
ています。学生達に尋ねてみます
と、あれはやりすぎだが分かるよ
うな気がする、呼応するなにかを
オウムが持っている、うっかりす
ると入っていたかも知、という耳を
疑うような意見が案外とでます。
そのことは、今の学生達は自分で
もなにか分からない、掴みどころ
のない不安を心の深層に持っている
ということでしょうか。

振り返ってみますと、私など
中・高年の世代が学生の頃は、な
にかのイデオロギー、例えば急進
的な左翼思想に身を委ねたり、テ
クノロジー（技術）の進歩に期待
を寄せておけば、それはそれなり
に自分達の青春を人生の一里塚と
して有意義に位置づけることができ
ました。ところが今は、旧ソ連
邦社会主義は崩壊し、またテクノ
ロジーの進歩も環境破壊などを生
みだし、それらはバラ色の将来を
保証してくれません。今の学生達
はかつてのイデオロギーやテクノ

ロジーに代わる頼りになるもの、
身を寄せるものを持ちません。

戦後50年が経って、改めて私達
の生き方が問われています。世代
間の「経験」の差が大きいですか
ら、学生達の世代の持っている共
通の気持、生活感、中・高年
世代のそれとは違うでしょう。で
も、だからこそ、生き方や命の尊
さについてともに考え、語り合う
ことがこれまでになく大切になっ
てきたのではないのでしょうか。大
学教育が専門知識や技能の教授に
とどまっていることの許される時
代は終わったようです。

その意味で、本学のキリスト教
主義に基づく人間教育は評価され
ていると思います。同窓の皆様方
の格別のご理解とご後援を心から
お願いいたします。

新理事長紹介

1995年8月7日開催の学校法人名
古屋学院大学理事会において、横井弘美
理事長の辞任が承認され、後任理事長に
内山道明理事長が選任されました。横井前
理事長は教務部門の充実、研究科・学部
改組実現のため学長職に専念されること
になりました。

内山新理事長は、大学の中・長期計画
の策定、懸念事項の処理等に全力を傾注
するとの意向を示されています。



内山道明理事長略歴

内山道明 (うちやまみちあき)
1924 (大正13)年10月19日生 (70才)

クラブ紹介

ローバースカウト
クラブ

ローバースカウトとは、簡単に説明するとボーイスカウトの一部門で、主に18歳から25歳までのスカウトを指します。このクラブは5年前にスカウト経験のある先輩方によって、より多くの人たちにボーイスカウトというものを知らせてもらうために作られました。活動の内容としては月に1回、キャンプやスキーなどの自分たちが楽しめる行事を行なっています。また、それ以外にも他の人のためになるような社会活動にも取り組んでいます。ボーイスカウトの社会活動といえば、ゴミ拾いや募金などが思われがちですが、それ以外にもいろいろなところで社会に働きかけています。神戸で震災があった時、クラブのメンバー数人が進んでボランティアに参加しました。8月30日、KO-MOOTO95というチャリティ大会が行なわれましたが、そこでも日本全国のスカウトたちがゴミ拾いや骨髄バンクなどの社会的問題に真摯に取り組む議論を行いました。またそのような社会に目を向けることで、社会の中の自分を見つめ直すことができます。そのほか、大学生活の中でもとても重要な事かもしれませんが、このように我々は、楽しむ時は楽しみ、人のために尽くすときは尽くすという、はじめのある活動をしています。



準硬式野球部

私達、準硬式野球部は、3年前の春に一部昇格して以来、毎シーズン3位、4位という優秀な成績を修めることができました。

私達の部では「自主性」をモットとしてやっています。指導者も待たないため、部員一人一人が自覚を持ち、キャプテンが中心となって練習を導いています。練習内容はおもにバッティング、ノックといった事に1年生から4年生まで全員がこなせるように進めています。中学、高校ではできなかった野球をめぐっています。練習中は、笑顔が絶えません。ときには、厳しく指導をすることもあります。部員の中には、野球を大学に入ってから始めた学生もいますが、この楽しさを目標とした準硬式野球部で毎日いそいそとプレーしています。

まもなく始まる秋季リーグを部員全員の活躍である優勝をめざして、精一杯がんばってほしいと思います。



ラグビー部

私達ラグビー部は、現在合計38名の人員で構成されており、経験者未経験者を問わずからラグビーを愛している者たちが集まっています。我部は、昨年からは体制が変わり、若く新しい監督、コーチを介して改めて出発しました。練習は、週6日で1日2時間と決め、いかに短時間で効率よく、中身の濃い練習をするかということに心がけています。残念ながら昨年は、東海学生Bリーグに昇格することはできませんでした。

しかし、今年は部長一人となってBリーグ昇格を目指し、さらにAリーグへの昇格を志すつもりです。これから始まる本格的なラグビーシーズンに向け、最善の戦いを経験、合宿を終え、手ごたえを感じています。同窓会の皆様のご期待に必ずこたえられる事と思えます。

活躍する
後輩達の成果

【柔道部】(リーグ2部)

- ◆第40回東海学生柔道選手権大会(リーグ2部昇格)
- ◆愛知県学生柔道新人優勝大会/団体2位
- ◆全日本柔道関係大学柔道大会/団体2位
- ◆東海学生柔道選手権大会/団体1位
- ◆東海学生柔道選手権大会/団体1位
- 【準硬式野球部】(リーグ1部)
- ◆東海大学準硬式野球リーグ戦/3位
- ◆東海選手権大会/2回戦負け
- ◆東海地区大学対抗戦/1位
- ◆東海大学準硬式野球秋季リーグ戦/3位
- ◆全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会(グナム島)/2名出場
- ◆三地区強化リーグ準硬式野球大会4名出場

【水泳部】

- ◆中部学生選手権水泳競技大会東日本学生選手権大会予選/男子総合3位
- ◆中部学生選手権水泳競技大会(全日本出場) 団体3位、男子50M自由形4位太田安寿、男子200M自由形伊藤義典、200M背泳ぎメドレー5位宮分次郎、400M個人メドレー4位 宮分、400Mメドレーリレー3位宮分次郎、今村寛文、丹羽晋介、横井仁和、400Mリレー3位横井仁和、横井仁和、太田安寿、伊藤義典、女子200M平泳ぎ3位小坂井裕加

◆中部学生選手権(水泳) 1位

【卓球部】(リーグ1部)

- ◆東海学生卓球選手権大会/団体3位
- ◆東海地区大学対抗戦/団体3位
- ◆東海学生卓球秋季リーグ戦/団体5位
- ◆東海学生卓球選手権大会/団体5位
- 【ソフトテニス】(男子リーグ1部) (女子リーグ3部)
- ◆東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦/団体3位
- ◆東海学生ソフトテニス選手権大会/3回戦負け
- ◆愛知学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦大会/男子団体1位
- ◆秋季東海学生ソフトテニス大学対抗リーグ戦/団体5位

【日本拳法部】

- ◆日本拳法空真真大会/個人優勝中根貴子、3位鈴木千賀、3位岩崎文香
- ◆中部学生拳法選手権大会/団体2位、個人2位青山由美
- ◆日本拳法名古屋大会(拳法連盟主催) 1位中根貴子、2位鈴木千賀
- ◆全日本学生拳法個人選手権大会/個人3位中根貴子、3位鈴木千賀
- ◆中部新人日本拳法個人優勝大会
- ◆全日本学生拳法選手権大会/団体1位

【ハンドボール部】(リーグ1部)

- ◆東海学生ハンドボール秋季リーグ戦/1位

【バスケットボール部】(リーグ2部)

- ◆西日本学生バスケットボール選手権大会/1回戦負け
- ◆東海地区大学対抗戦/3位
- ◆東海学生バスケットボールリーグ戦/団体5位(リーグ2部昇格)

【バドミントン部】(男子リーグ1部) (女子リーグ5部)

- ◆東海学生バドミントン選手権大会/男子3位、女子2位、個人杜シングル2位河谷智嗣、ダブルス3位河谷智嗣、青山華莉
- ◆秋友杯杯教友杯杯争奪・全日本学生バドミントン選手権大会/団体3位
- ◆瀬戸市民バドミントン大会/男子ダブルス1位

【バレーボール部】(男子リーグ2部) (女子リーグ7部)

- ◆東海大学男女バレーボールリーグ戦秋季大会/男子3位、女子
- ◆東海大学男女バレーボール選手権/男子1回戦負け
- ◆東海大学男女バレーボールリーグ戦春季大会/男子2位

【美術部】

- ◆中部学生フレンドシップ美術大会/小澤聖那絵画技3位別所雅治、学生賞典原康祐美術部
- ◆知学学生トライアル展美術競技会/出場
- ◆中部学生自衛隊校大会/中野南翔絵3位別所雅治、5位西田晋子
- 【ボクシング部】
- ◆全日本選手権東海地区予選東アジア大会選考会/LF級1位加藤大時、L級1位市川貴志
- ◆中部学生ボクシング選手権大会/出場、最優秀選手市川貴志
- ◆第4回国民体育大会/LF級選抜大時、L級3位市川貴志一中部学生新人戦/団体2位、F級1位藤原原純、B級2位岡田和彰

【格闘部】

- ◆東海学生空手道対抗選手権大会/団体1位
- ◆愛知県選手権名古屋支部大会/個人戦円遊波14位田中智城、5位岡崎有貴、6位大西有貴、セリバゲ2位東谷公博、ハンマー投げ1位林洋平
- ◆東海学生空手道秋季選手権大会/個人丹波優1位辻川浩一、6位田中智城

【フットボール部】(リーグ3部)

- ◆秋季リーグ戦/5位
- 【ヨット部】
- ◆夏季中部地区立学生選手権/団体5位
- ◆春季中部インカレ個人杜予選/団体9位
- ◆夏季中部インカレ/団体8位
- ◆秋季中部学生ヨット選手権大会/団体戦10位
- ◆中部学生ヨット団体5位

【スキー部】(リーグ3部)

- ◆中部学生スキー選手権大会/男子(総合)3位、女子(総合)2位、女子5KMクラシカル2部3位竹内久美子、6位竹島由華子、女子5KM2部3位竹内久美子、5位津井由里子、女子大回輪2部7位橋本真帆

【民舞部】

- ◆東海学生フォークダンス'94

【ラクロス部】

- ◆東海ラクロスリーグ戦/出場

【E.S.S.】

- ◆THE 35TH ENGLISH DRAMA FESTIVAL(半田勉労働会館)

【マンドリンクラブ】

- ◆第28回定期演奏会(瀬戸文化センター) MANDOLIN JOINT CONCERT '94

【ギタークラブ】

- ◆創設30周年第28回定期演奏会(愛知共助労働会館)

- ◆名古屋学院大学ギタークラブ&中京女子大学合奏団ブテコンIN SUMMER '94

【放送文化研究会】

- ◆第21回森林公園コンサート「この指とまれ」

【ローバースカウトクラブ】

- ◆春季キャンプ(長野県御座場キャンプ場)ボーイスカウト連盟指導者講習会(中部電力研修センター)
- ◆阪神・淡路大震災義援金活動
- ◆阪神・淡路大震災ボランティア活動(西宮)

【新聞会】

- ◆名古屋学院大学新聞(94.9.20発行)

- ◆NANA(94.12.20発行)

トピックス

同窓生のみなさん
「国際セミナーハウス」を
知っていますか？



毎度では、昨年1月に閉じられた、国際セミナーハウスを拠点に活躍する国際交流が行われています。主に留学生のための居住、研究施設として設立されたこの施設からは世界の27ヶ国23名の卒業生を輩出しました。主には、アメリカ、カナダ、オーストラリア、中国などで、フィリピン、ハンガリー、エジプト、インドなどからも少数ではありますが、セミナーハウスでの生活を体験してきました。

国際セミナーハウスでは、毎年30名程度の留学生が在籍していますが、今回はその中から7名の留学生を紹介します。

カナダはトロントのエイドリアン・ウマカーさんは、フランス語と経済学が専攻。

オーストラリアはシドニー出身のキャロル・ラムさんは、日本語を専攻しているとのことです。

台湾・台北出身の王怡仁さんは、国



際ドイツはケルン出身のペトラ・ミュラーさんは、日本語。

ジュリン・オオイさんは、マレーシア・ペナン出身の経済学。

将来は先生になりたいというハイラム・ペンダーグラス君はアメリカ・アラバマ州の出身。

エジプトから来たオラ・ファミーさんは、政治学が専攻だそうぞ。

7名の留学生の皆さんは、一様に名古屋学院大学について、環境が素晴らしい、キャンパスはきれいで、先生は「フレンドリー」。学生は「エクセレント」、全てに絶賛していただきました。

最後に、エジプト出身のオラさんは、名古屋学院大学のお礼を言いたいとお話してくださいました。

1996年入試要項

1996年度入試の日程は別表の通りです。昨年度との変更点は、商学部一般入試で従来型のA方式に加えて、新たにB方式として簿記会計1科目入試を新設した点です。その他、試験科目・配点・試験場など変更点はありません。なお、詳細は入試課・広報課までお問い合わせください。

経済学部・商学部					
区分	学科	募集人員	出願料(済)の有無	試験日	試験地
一般入試	経済学科	約255名	1月9日(火)～1月23日(火)	2月1日(木)	本学 浜松 津 福岡 東京 大阪 豊橋 大田
	商学科 A方式	約155名		2月2日(金)	
	商学科 B方式	約15名		2月4日(日)	
一般推薦	経済学科	約80名	1月30日(金)～1月14日(火)	11月25日(土)	本学
	商学科	約155名			

外国語学部					
区分	学科	募集人員	出願料(済)の有無	試験日	試験地
一般入試	英米語学科	約90名	1月9日(火)～1月23日(火)	2月4日(日)	本学 浜松 津 金沢 岡山 福岡 東京 大阪 豊橋 大田
	中国語学科	約30名		2月5日(月)	

- 【アーチェリー部】(リーグ2部)
 - ◆東海学生アーチェリーリーグ戦 (男子) 団体4位 (女子) 団体5位
 - ◆東海学生アーチェリー大会個人選手権大会 (女子の部) 3位山口美香
 - ◆東海学生アーチェリー新人選手権大会 (女子個人戦) 優勝坂口美香
 - ◆インカレ選手権(インカレターゲット) AUSAFCAP個人戦
 - ◆東海学生アーチェリーウィリアムズカップ (女子個人戦) 1位山口美香
- 【アメリカンフットボール部】(リーグ2部)
 - ◆東海学生アメリカンフットボールリーグ戦団体1位
 - ◆第7回定期戦
- 【ウエイトリフティング】
 - ◆中部学生パワーリフティング選手権大会/56KG級2位豊谷和真、80KG級1位太田正、75KG級3位栗田英成、82.5KG級1位市川昌章
 - ◆秋学期中部学生パワーリフティング新人大会 (新人の部) 団体優勝 (秋季の部) 団体2位 (秋季の部個人) 56KG級2位木原真平、60KG級1位藤谷和真、82.5KG級1位市川昌章、(新人の部個人) 60KG級1位山口 望、67.5KG級1位小井手大次郎
- 【空手道部】
 - ◆愛知県空手道選手権大会 東海地区大学空手道新人戦大会/優秀選手 菅野田二、所 信保
 - ◆豊橋東海地区大学空手道選手権大会/団体4位
 - ◆愛知県民体育大会空手道競技の部 (個人組手3回戦負け)
 - ◆秋学期東海地区大学空手道選手権大会/団体2位、個人戦優勝荒田純二
 - ◆95春季東海地区大学空手道選手権大会/団体2位
- 【剣道部】
 - ◆東海学生剣道選手権大会 (4回戦負け)
 - ◆東海女子学生剣道選手権大会/個人戦3位兼森智子
 - ◆東海学生剣道新人戦選手権大会 (5回戦負け)
 - ◆東海女子学生剣道新人戦選手権大会 (5回戦負け)
 - ◆全日本女子学生剣道選手権大会/出場権獲得
- 【剣道フェスティバル】(リーグ2部)
 - ◆全日本学生フェスティバル選手権大会東海地区予選/団体3位、
 - ◆東海学生フェスティバル選手権大会出場
 - ◆全日本大学対抗フェスティバルフェスティバル/団体1位
 - ◆東海学生フェスティバル選手権大会/団体1位
- 【硬式野球部】(リーグ2部)
 - ◆愛知大学野球春季リーグ戦/2位
 - ◆愛知大学野球秋季リーグ戦/2位
- 【ゴルフ部】(リーグ2部)
 - ◆中部学生ゴルフ春季リーグ戦/2部団体1位 (1部東海) 1部団体4位
 - ◆中部学生ゴルフ秋季学校戦/Aブロック5位
- 【サッカー部】(リーグ2部)
 - ◆東海大学サッカーリーグ戦(準全日本予選)/団体2位
 - ◆東海大学サッカー対抗戦団体優勝
- 【少林寺拳法部】
 - ◆全日本学生大会/団体予選勝ち
 - ◆全日本学生大会/個人準優勝 (殿内賞) 3位石上武
- 【自転車部】
 - ◆全中部学生ダートトライアル選手権大会/(男子) 団体7位 (女子) 団体1位
 - ◆全中部自転車安全技術競技大会/(男子) 団体4位 (女子) 団体2位
 - ◆中部学生自転車運動競技選手権大会(新人戦) 中京/団体2位

活躍する同窓生

「娘と英検を受け、2級に合格したんですよ。」一瞬えっと思ったが、気負ったところもなく、さらりと楽しそうに話された顔に、草創期の名学大生が写った。新設大学の1回生が、百年近くの歴史がある、世界にも知れる企業の中で、今の地位を確保するには、並の努力ではなかつたはずだ。

32才で米国防務となり、ラジオも理解できずに始まったが、8年間で生活文化の理解をし、映画を楽しめるまでになった。今日でも、通信教育講座を毎年必ず受け、何か身に付けているとのこと。それは、「国際化が進み、空洞化が始まった今の社会を生き抜くには、何か特技が必要」という言葉につながる。たゆまぬ努力を余暇時間に楽しみながらしているのを感じる。



この素地は、学生時代に培われたようだ。卒業指導で、福田学長に、原書を読んで書ける力と言われ、応えてみたそうだ。宗教学では、

「DASEMI」を通して存在即ち、出会いと確実な死への近づきが、一つの真実であることを学び、学長が卒業式で、「GRADUATION」つまり、卒業とは、終りではなく始まりである。天から二粒の雨が地上に落ちる。一つはセントローレン

ス川に、もう一つはミシシッピ川に。つまり、スタートは同じでも、行きつく先には大きな開きがある。」という話などから、「どうせやるなら、人生一生懸命やってやろう。」と心に決めたそうで、会社に入ってから、のプラス思考への切替とで今の柴田氏はあるそうだ。

戦前からの歴史ある建物の中は、32の計算機を大正十四年日本で最初に導入したことを始め、百年の歴史を明るく語る雰囲気を持ち、受付の女性を始め、会う人会う人にこやかで美しかった。



まるで柴田氏の人柄を伝えているようで、ほのぼのとした感じを受けた。案内いただいたノリタケクラブセンターは、素晴らしい一言であった。一回生が動いていることは、同窓会としても喜ばしいことで、柴田氏の増々のご発展を祈り、期待し訪問を終えた。

第一回卒業生 柴田 貞明

吉株式会社

ノリタケカンパニーリミテッド

経営課本部長

H日営業部長

活躍する同窓生

有松の旧街道の裏手になるが、名鉄電車に面し、有松駅から五分程のところ、立派なお屋敷の一角に大きな黒い倉がある。これが「倉上房」という早川嘉英氏のアトリエである。また、氏が主催する「シボリコミュニティ」と絞りの唯一の世界組織「ワールドシボリネットワーク」の事務局でもある。

草創期の名学大には、顔をよく見ているが、卒業生名簿には、名がない人がしばしばいる。しかし、この人は、名が出ていて驚く人が少なからずいると思う。しかも、今、世界をシボリで飛び回る作家先生と言えば、なおさらである。現役時代は、学生自治会の委員長として、「先生の顔も、授業も思い出されなければ……」とにかく活躍した人であった。氏は、「確かに一度退学した。休学を申出たら、休学は授業料が半分いるから、無条件で復学できるようにするので」ということで、当時の家族的な、人間味のあつた思い出話をしてくれた。また、この頃の経験が、翌年に開いた「国際シボリ会議」や、シボリコミュニティ、ワールドシボリネットワークの組織化運営に大いに役立っているとのことだ。

日展、新芸展に3年出展し、受賞したがあきたらず、絞りのわかる人で、シボリコミュニティを組織、「マイナーな「絞り」を芸術性を高めた、アートとしての「シボリ」を求めている。92年の国際シボリ会議以降、「シボリ」が世界から出てきて、世界ファッションにも影響を及ぼし、「絞りが今、新しい時をつくる」と言う。事実、三宅一生氏も「シボリ」を作品にしている。明日からの東京での展示会の準備をしながら「伝統は、その時代に繁栄したモノだ、だから伝統は、前衛であらねばならない」と熱を込めて語り、「絞りの仲間が点から線になり、今、面への広がりが見えてきた」と。さらに、「シボリ」への情熱を深めていく意気込みを感じた。増々のご活躍に声援を送りたい。

第三回卒業生 早川 嘉英

シボリ作家

職工課主任

シボリコミュニティ事務局長

ワールドシボリネットワーク

事務局長



恩師の近況

チャペルでの
結婚式

87年卒 進藤幸治
1993年10月2日に母校名古屋学院大学のチャペルで結婚式を挙げてから、もうすぐ2年が過ぎようとしています。



結婚という二文字を外から眺めているのと、実際に自分達が当事者となつて、関わっていくのでは大変な違いがあることを実感しました。結婚しようと決めて、周囲の商業ベースにのつとつた式や披露宴はしたくないと思っていました。が、ではどうするか、ということになりました。そこで、私達にとつて何が大切か、ひとつずつかたちにしていくことから始めました。幸いお互いの両親からも本人同志の望むように、という理解が得られて、なるべく手作りで、と考えていました。その時、母校のチャペルで式を挙げたいと思つたのです。

その旨を木村先生から大学へ伝えていただき、その後直接お話を伺いに出かけ、10月に林先生に式を挙げていただくことになりました。

当日はチャペルの椅子の背に花とリボン飾りつけてもらいました。親戚・友人の見守る中、オルガンの音色が響き式が始まりました。チャペルの窓から樹々の緑が美しく、都会の中では味わえない静けさの中で式は終り、長かったような、一瞬だったような不思議な時間でした。

自分達の手作りでと言いつつ、二人だけでできるものなど何もなく、お忙しい中、準備もふくめ時間をとっていただいた母校の先生方、オルガンを演奏して下さいた有田さん、色々手伝ってくれた友人、見守ってくれた両親、沢山の人達のおかげで新しい生活のスタートをさせていただきました。ありがとうございました。あの日のチャペルでの暖かな気持ちを時々思い出して、お互いの誓いが錆びつかないように、過ごしていきたいと思っています。

チャペルでの学式等のお問い合わせは、同窓会事務局まで



近況雑感



商学部長 小島博

商学部長 小島博
商学部長が経済学部商学科から平成四年に改組独立してから三年半、来年三月には初の卒業生を送り出すことになる。就職氷河期といわれる今年、四年生の多くが夏の暑さも忘れ企業訪問に明け暮れたであろうことを思うと胸が痛む。希望の企業に内定したという報告を受けることはとすると、商学部のモットーは、変化絶え間ない社会にあつて個性豊かに実力を発揮し活躍できる有為な人材を送り出すことであり、その実現のために商学部教員は丸となり種々の工夫を凝らし熱意をもちつて特色ある教育の実施に尽力してきたと自負しているが、社会がどこまで評価しているかは定かでない。多くの企業や社会が商学部の教育の質の高さを理解してくれればと願うところである。

私は学部設置とともに商学部長という大任を仰せつかったが、多くの先輩・同僚の協力を援助により大した失敗もなく何とか無事に学部の完成年度を終えそうに思える。何事も一人でできることはない、皆様に感謝している。

今年、三月に商・経両学部の春の短期留学生送出し先であるフェレイレイディックソン大学とニュージャージー州およびニューヨークの大学教員を訪問した。ここでは、日本とアメリカの大学の規模、機構の違いに感銘した。七月には、商学部

と提携している中国の河南省鄭州にある河南財経学院大学を訪問した。中国の発展ぶりに驚嘆したが学生の猛進強ぶりにも驚嘆した。大学も日本の中だけで考えていてはいけな時代なのだ痛感した。商学部は世界に通用する存在でありたいものだと願望を抱いた。商学部の更なる発展を目指し教員一団の団結と熱意で前進しなければならぬと思つている。

大学に就任して二十年、あつという前の出来事のように思える。卒業生から何年振りかに年賀状をもらうと嬉しくなる。今年の一月の大震災の時、これまで音信のなかった人が電話をくれたり葉書をくれたりすると被災を忘れて嬉しくなつた。何より怪我もなく無事だったことが嬉しいが、見舞ってくれた人の連れ合いに感謝した。七月末にやつと交通機関のボートライナーが復旧したが港の周辺は手付かず、町の中心部は解体作業の真っ最中。それでも、時間は何もなかった事と同様に過ぎてゆく。これらの都合良く時間は止つてはくれない。大学の競争も同じで、世間は本学の都合などお構いなしだ。やつと四年目を迎えた商学部も助走の段階、競争に打ち勝つためには自らの努力だけではなく卒業生諸君を初め多くの人々の励ましと助力が必要だ。復興に数年を要するとされる神戸の現況と合わせ大学の将来を考えるこの頃である。



